卒業を祝して

　箕島高等学校同窓会会長の宮本です。卒業生のみなさん、本日はご卒業、誠におめでとうございます。みなさんの門出を心から祝福いたします。また、本日までお子様の成長を見守ってこられました保護者の皆様、今日の良き日を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。そして、未来ある後輩たちを入学から今日まで、親身になってご指導くださいました藤村校長先生をはじめとする教職員の皆様のご功労に対し、改めて敬意を表したいと存じます。さて、卒業生のみなさんは、この三年間、本校の熱心な教育と慈愛に満ち溢れた先生方の指導のもと「凛烈の意気」の校訓の精神を受け継ぎ、様々な経験をされある時は喜びや達成感を味わい、ある時は傷つき苦悩し、挫折を乗り越え、本日を迎えられたと思います。本日、通いなれた学び舎を旅立ち新たな第一歩を踏み出す前途にはこれまでとは違った未知の世界が広がっています。卒業にあたり、みなさんに大リーグで大きな功績を残し、日本人初のアメリカ野球殿堂入りを果たした、元野球選手「イチロー」こと、鈴木一朗さんの名言を紹介します。「壁というのは、できる人にしかやってこない」「超えられる可能性がある人にしかやってこない」だから「壁がある時はチャンスだと思っている」彼が打ち立てた最多安打のギネス記録である「日米通算 4,257 本の安打記録」は、長い間コツコツと努力を積み重ねた結果に他なりません。壁に直面したときにそれを辛いと嘆いて終わるだけでは、成長の機会を捨てることになります。しかし壁をチャンスだと思えればさらなる成長が見込めます。自分の可能性を信じ、困難を前向きに捉える精神をみなさんに伝えたいと思います。

　さて、私は、昭和五十年三月に箕島高校を卒業しました。皆さんから見ると五十年前の先輩にあたり、ちょうど五十年前には皆さんと同じ席に座っておりました。五十年たった今、言えることは、母校が箕島高校であって本当に良かったと言えることです。自分の人生を振り返った時に箕島高校があったからこそ、自分の人生が変わり、今日まで生かされてきたように感じています。卒業生のみなさんには、本校での学びに誇りをもち、十年後二十年後に、胸を張って先生方や友達に会える人であって欲しいと思います。

　結びに、今日から箕島高校同窓会の会員になられるみなさんの未来が希望にあふれ、幸多からんことを心からお祈り申し上げますと共に箕島高等学校の益々のご発展を祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。

　令和七年三月三日

和歌山県立箕島高等学校

同窓会　会長　宮本和幸